くがはら

発　行：わがまち大田久が原地区推進委員会
編　集：地域情報紙「くがはら」編集委員会
事務局：大田区久が原特別出張所
〒146-0085 大田区久が原2-19-3
TEL（３７５２）４２７１
FAX（３７５２）４５１４

未来（あした）に活かす米百俵

久が原地区管内	人口	男	12,393人
		女	12,559人
		計	24,952人
	世帯		11,010世帯

平成13年6月1日現在

新自治会長就任のごあいさつ

道々橋自治会長　三部金光

この度、道々橋自治会長に就任いたしました三部金光です。皆様方には、日頃より自治会活動にご協力いただき、誠にありがとうございます。

私は、地元の皆様に役立つ自治会運営を行いたいと考えています。幸いなことに、経験豊富な方々が役員になってくださっておりますので、力を合わせて頑張る所存です。

自治会に対しましては、様々なご意見がありますが、話し合いの場を多く持って、民主的に運営して、地元の発展に努めたいと思います。

新しい役員全員が張り切っておりますので、皆様方の今まで以上のご指導ご協力を心よりお願い申し上げます。

久が原東自治会長　天野重夫

十年間久が原東自治会長としてご活躍いただいた宮田篤二さんの退任にともなう後任会長に就任いたしました。

実力、経験ともに乏しい私にとって、その重責に耐えられるのか不安がありますが、地域の先輩の方々をはじめ、皆様のご理解とご協力を得て、無事努めたいと思います。

久が原地区の五自治会はまとまりがよく、各種年中行事もスムーズに運営される伝統があります。こうした伝統の上にたって、大田区の基本テーマの「安心」「輝き」「潤い」のある地区になるよう、皆様とともに手を取りあって努力することを心に決めています。よろしくお願いします。

大森十中のさらなる発展を

大森第十中学校長　池田　忠

土曜日の放課後、校庭では、サッカー部・硬式テニス部の生徒達がゲームに興じています。声を掛け合いながら淡々と練習が進んでおり、純白の体育着が躍動する姿は大変眩しく映ります。何気ない風景に、学校にいるんだ、教育が行われているんだという実感を得られる瞬間です。今年度、区内蒲田中学校から本校へ着任しました池田忠と申します。どうかよろしくご指導ご鞭撻のほどお願い申し上げます。

さて、着任して二か月が過ぎようとしております。広い校庭とすばらしい体育館、施設・設備の充実さは目を見張るものがあります。また、地域の教育環境も落ち着いた雰囲気を保ち、教育力の高さを感じます。生徒の皆さんも運動に勉強にと、いわゆる「文武両道」を目指すに十分な資質を備えており、その資質をいかに大きく開花させていくか、私たち教職員の力量が求められているものと、身の引き締まる思いです。

第五〇回　子どもガーデンパーティー
四月二十二日洗足池の青空に
ま鯉・ひ鯉は泳ぎに泳いだ

降り続いた雨もすっかり上がり、鮮やかな新緑に囲まれた会場は、雪谷・久が原・千束三地区の青少対百名に近い委員の手により、前日からの準備設営が各コーナー共すっかり完了。午前十時には、大勢の参会者を迎え、鯉のぼりの歌声とともに開会されました。

広いグランドでは、シニア・ジュニアリーダーの企画による大型遊戯コーナーに行列ができ、リーダーの活発な動きが目立ちます。又、各地域の郵便局も協力出店され、真剣に手紙を書く子どもの姿が見られました。

桜山では本格的なアスレチックが例年どおりセットされ、各小学校ＰＴＡによる、手作りコーナーに子どもも大人も群れていました。

池周辺では、田園調布消防署によるはしご車、煙体験、ミニ防火服の試着があり、田園調布警察署からは、騎馬隊が出動、白バイ、ミニパトカーの試乗も体験できました。

大森十中からは、吹奏楽部の演奏や、美術部の絵遊びコーナーの協力があり、溌剌とした雪谷高校のチアリーダー部のリーディング等々。午後三時まで十二分に遊び、作り、体験し、楽しむことができました。

参加者は二千五百余名、ご来賓は百名程、実行・協力委員七百余名にものぼるこの一大行事は、今年で五十年目を迎えました。区内八会場で一斉に開催されるガーデンパーティーは、それぞれの会場の特色が活かされ、地区青少対の総力を挙げて実施されています。

洗足池会場は、区内随一の風致公園、山あり池あり、島ありグランドありの恵まれた会場で、プログラムの内容も年々斬新さを加えています。

今年は天候にも恵まれ、大盛会のうちに終えられたこと、実行委員一同大きな喜びでした。

（新井信子）

二十一世紀に松仙小学校体育館改築

松仙小学校長　飛田貞子

今日、学校教育は、家庭や地域社会との連携・協力が強く求められています。地域にあり、地域とともに発展してきた学校としては、この協力関係と絆をさらに強固なものにしていくことが重要であります。

二十一世紀を迎え、学校はどのような方向へ進んでいくのでしょうか。願わくば、家庭・地域社会の方々と協力し、地域に支えられ、共に汗を流せる学校づくりに全力を尽くしたいと考えるところです。

昭和三十三年から四十年以上の間皆様に親しまれてきました体育館が、このたび改築されることになりました。二十一世紀に輝く子ども達への贈り物です。地域の方々、大田区、大田区教育委員会のご尽力に心より感謝申し上げます。

新体育館は教育施設として最新の設備を取りいれ、地域への開放や、災害時には避難所としての機能を果たすよう工夫されます。

現在、工事が進み、平成十四年二月末に完成の予定です。

旧体育館同様、多くの方々に親しまれ、子ども達の心に末永く刻まれますことを願い、地域の皆様には今後も一層のご支援をお願い申し上げます。

人事異動

久が原地区自治会連合会長
新　松田　清
旧　宮田篤二

久が原東自治会長
新　天野重夫
旧　宮田篤二

道々橋自治会長
新　三部金光
旧　横溝一澄

久が原特別出張所長
新　清水耕次
旧　森　透

久が原特別出張所住民係長
新　石渡房世
旧　岸　里子

大森第十中学校長
新　池田　忠
旧　岩浅　稔

松仙幼稚園長
新　飛田貞子（校長兼務）
旧　中山博子

イベント情報

久が原福祉園のおまつり
今年は2回に分けて行います。
①納涼祭
【月日】7月20日（海の日）17：30～
☆ 夕方から、お囃子や阿波踊り・盆踊りを楽しみます。
②きらら祭
【月日】9月8日（土）10：00～15：00
☆園の活動紹介や作業体験、縁日・バザーなど盛り沢山。
【会場】久が原福祉園とのぞみ公園
【電話】（3748）0251

雪谷高校公開講座
【内容】フランス語会話中級
【月日】7月19日～8月26日の毎週日曜
【時間】午後2時～5時
【会場】東京都立雪谷高等学校
【電話】（3753）0115
【その他】受講料・テキスト代別途
☆フランス語既習の方を対象に、フランス人講師とともに楽しく学びます。

夏休み子どもキャンプ
【月日】8月26（日）・27日（月）
【場所】茨城県立白浜少年自然の家
【問合先】久が原特別出張所
【電話】（3752）4271
☆おいしい空気を吸って、楽しい思い出を作ろう。

第12回ふれあい久が原
【月日】9月30日（日）9：30～
【場所】久原小学校校庭・体育館
【問合先】久が原特別出張所
【電話】（3752）4271

欅（けやき）の思い出

昭和のはじめの久が原は、ほとんどが農家で、道路も今のように整然としていませんでした。道路と私有地、私有地と隣家の境は、塀がないのが普通で、欅や榊などの木を植えて境界にしていました。

欅は、夏は繁って暑さを和らげてくれ、秋は落葉して陽射しを妨げないという効用の外に、伸びた枝を何年か毎に伐って、細い枝先は畑の霜除けに使い、太い枝は家の軒下で乾かして餅つきの燃料にしました。

さらに、当時は大森で盛んだった海苔養殖で、海苔を付着させるために海中に立てるひび用に竹の枝とともに買いにくる人がいました。

農家が減るにつれて欅は少なくなり、今では西と東の八幡様の境内、野村證券久が原明生寮、そして個人では西の三木兼吉さん、久原小隣の三木榮任さん、東では長島明さんのお宅に残っているくらいになりました。久原小第二校庭の北側にも数本あります。久原小学校の改築では、伐らないようにお願いしてあります。

残っている欅の中で最も大きいのが、久が原図書館近くの平林喜子さん宅の門前にある欅です。今は幹の上の部分が無く、根元も石で囲って盛り土されていますが、昭和二年に私が小学校に入ったときには道の傍に天にも届くようにそびえていました。

今年の正月に注連縄（しめなわ）が張られていたので、たまたま門前に居られた喜子さんに伺ったら、毎年注連飾りをしておられるとのことでした。

学校の帰りにこの欅の前で当主の平林長左エ門さんに呼び止められ、「おめえ何処の子だ」と聞かれ、「宮田です」と返事をしたら、「宮田じゃ判んねえ、たばこやか隠居やか？」と問われ、「父は長吉です」と答えたことを思い出します。「たばこや」とは私の生家の本家、「隠居や」というのが生家の集落での俗称でした。宮田姓の家が三軒隣り合わせだったからです。

長左エ門さんは同級生邦太郎君のお父さん。喜子さんは邦太郎君の奥さんで、三木榮任さんのお姉さんです。

平林さんの欅の樹齢は、樹木の専門家の話しから推定して四百年くらいになるようです。ご子息の拓也さんにお願いして、目どおり（地上約一・五m）で測っていただいた幹の回りは、三・七mでした。（前連合会長　宮田篤二）

ふれあいと対話が築く明るい社会
第五一回社会を明るくする運動「親と子の、心のふれあいいきいきと」

最近、少年による凶悪重大な事件が相次ぎ、いじめ、不登校、引きこもり等、様々な形で身近に発生しています。

今年も学校をはじめ、諸機関・諸団体との連携を図りながら、誰もが「いきいき」とした明るい社会づくりに参加してまいりたいものです。

この運動は、七月一日から三十一日までの一か月間、次の要領で催しが行われます。

①ポスター・広報誌・懸垂幕等による広報活動
②七月二日（月）雪が谷大塚駅ほかでの駅頭広報活動
③七月六日（金）午後一時より区民ホールアプリコで、元横綱曙太郎氏をゲストに大田区中央大会開催
④各地域におけるミニ集会
⑤社明広報ビデオの貸出し

これら各催しへの皆様方のご参加ご協力をよろしくお願い致します。

（保護司　川又　浩）

随筆　久が原の四季「夏」

初夏のさわやかな風が、サワサワと木々を渡るころ、かわいいつぼみを膨らませている花水木。小さい四つの花弁がお互いに、手をしっかりつないだ様は、子どもの童歌を連想させる。それもまたたくうちに大きく手を広げて、みずみずしい花びらが天を仰いで枝を覆う。

並木道に植えられた花水木や、塀の上に背高くそびえる花水木は、初夏の空にふさわしい光景である。

やがて雨の季節が到来し、緑の葉の茂った枝に、豊かな果実が薄緑にきらきらと輝く。初夏を飾った花が半年後には果実として梅の実をもたらし、夏を乗り切るよきパワーを私たちに与えてくれる。その梅が実るころに降る雨とか：梅雨明けを待ちわびるころ、久が原の庭は緑がより一層色濃く、深みを増していく。

一本しっかりと根を下ろした白樺が、緑の木々の中にひときわ白い姿を引き立たせている。その葉は、枝は、大きな日陰を私たちに提供し、ぎらぎらした太陽光線を一度も二度も下げてくれる頼もしい樹木である。

時計草：たしか「秘密の花園」に咲いていたという、世にも珍しい花が、アーチを作っている。顔を近づけてじっと見つめていたい。チクタクと心地よい音が聞こえてきそうな夢のある花。

真夏の代表はさるすべりの木でしょうか。木肌のスベスベとした美しさ、白い花、ピンク色の花が、蒸し暑い空気にすっきりと果敢に咲いている。

こうして残暑を経て、涼しい風を切望する私たちに、緑の色は目をも心も癒してくれる。（南自治会　森　葉子）

俳句

人の世は歩幅それぞれ茄子の花　松本美代
蹄鉄の青芝深く駈け抜けて　石黒啓子
返す傘また借りてくる濃紫陽花　田口静枝
玩具めく犬曳かれをり柿若葉　堀川秀子
母の日の花の水替へねむごろに　新井きみ

委員会からのお知らせ

近年、災害時における地域の役割はますます高まっており、中でも消防団は大変貴重な力とされています。しかしながら、数年来、若年層団員の不足が顕著となっており、十分にその機能が発揮されるかを危惧する声すらあります。

現在、久が原地区では、田園調布消防団の第四（南・ヒルズ自治会）第五（東・西自治会）第六（道々橋自治会）の三分団が日々活動しています。

まちの安全を守るためには、男女を問わず若い力が必要です。興味のある方は左記までお問合せください。

田園調布消防署
電話（3727）0119

編集後記

○いま、家族や親子の絆を深め、子どもたちを健やかに育てる催しが、地域社会との連携の下に各地で行われています。
○情報紙くがはらも地域社会の期待に応えるべく、紙面の充実を図り、一層の努力を重ねております。
○どうぞ、皆様方の周囲のニュースなどお寄せ下さいますようご協力をお願いいたします。
（かわまた）